

2012 年 11 月

森永乳業の育児ニュース『エンゼル 110 番レポート第 68 号』発行

「子育てママのお正月」

———100 人のお母さんに聞きました———

森永乳業は、時代とともに変わりつつある母親像の理解に役立つことを願い、1993 年 4 月から「エンゼル 110 番レポート」を発行しております。「エンゼル 110 番」は、「子育て奮闘中のママたちのために何かお役に立てることは…」と考え、1975 年 5 月に開設した無料の育児相談窓口です。この「エンゼル 110 番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル 110 番」への相談内容から、毎回育児に関する傾向についてまとめています。

今回は、エンゼル 110 番を利用するママたち 100 人に、来年のお正月についてアンケートを行いました。日本には、季節ごとの歳時が数多くありますが、お正月は誰もが祝いする一番の行事といえるでしょう。日本ならではの文化がたくさんつまったお正月ですが、時代とともに若い世代では年賀状はメールに変わり、伝統的なおせち料理を作る家庭も少なくなったといわれています。

では、小さな子どものいるママ世代は、お正月をどのように過ごし、どのような祝い方をしているのでしょうか？また、お正月行事として次世代の子どもたちに伝えていきたいことはあるのでしょうか？ママたちのお正月事情を探ってみました。

【主なアンケート結果】

- お正月（三が日）は夫婦いずれか、または両方の「実家で過ごす」が 7 割弱を占めた。
- お正月には 9 割弱のママが年賀状を出す予定で、メール派は少数。「初詣に行く」と答えたママは 7 割強。
- 子どもに伝えたいのは、お雑煮やおせち料理などの食文化、「お参りする心」や「家族や親戚で集まる」など、日本文化ならではの「お正月」があがった。

<お客さまからのお問い合わせ窓口>

妊娠・育児相談「森永乳業エンゼル 110 番」 TEL 東京 03-3405-0110、大阪 06-6365-0110
月～土曜日（日曜、祝日除く）、10～14 時

エンゼル 110 番ホームページ <http://www.angel110.jp/>

今回のテーマ「子育てママのお正月」

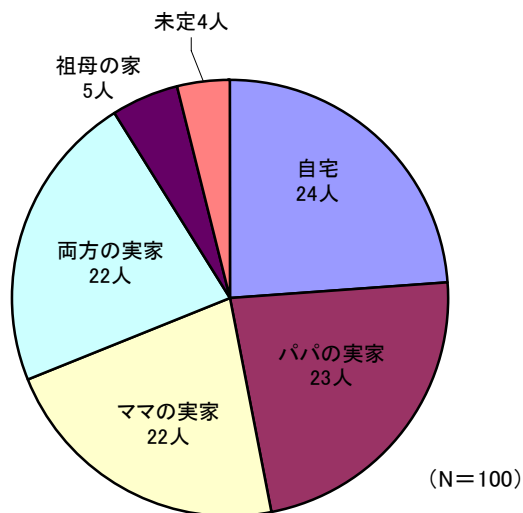
－100 人のママに聞きました－

お正月は実家でゆっくりが主流

最初に「お正月（三が日）はどこで過ごす予定ですか？」と質問しました。三が日を「自宅で過ごす」と答えたママは 24 人でした。「ママの実家に行く」（22 人）「パパの実家に行く」（23 人）「パパ、ママ両方の実家に行く」（22 人）で、実家で過ごすママが 67 人という結果でした。また、「祖母の家に行く」というママが 5 人いました。（表 1）

今回のアンケートでは、お正月に海外旅行や、実家の両親と温泉に行くと答えたママは、いませんでした。数年前は、年末が近づくとエンゼル 110 番に「赤ちゃん連れてハワイに行くが、どんなことに気をつけたらよいか？」「赤ちゃんを温泉にいれても大丈夫か？」といった相談がよく寄せられました。不況が続く中で、子育て世代のお正月の過ごし方も以前とは変わってきているのかもしれません。

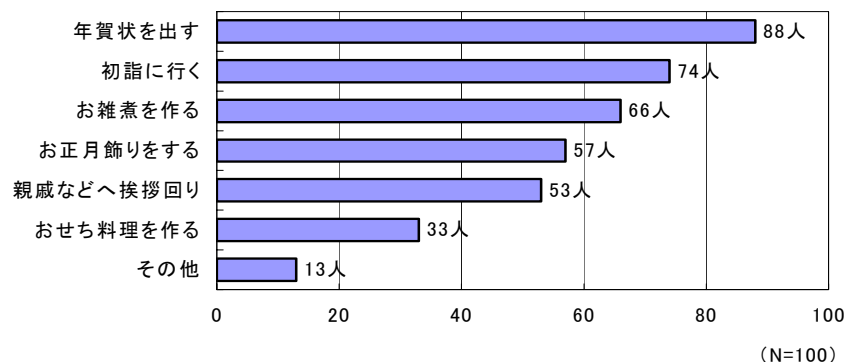
表 1. お正月（三が日）は、どこで過ごす予定ですか？



お正月といえば、年賀状と初詣

次に、ママたちがお正月にどのようなことをする予定なのか尋ねました。

表2. お正月、次のことをする予定はありますか？



最も多かったのは「年賀状を出す」(88人)で、「年賀状は出さない」「メールで済ませる」という回答は、ごく少数でした。元旦を迎えた瞬間に携帯電話で大量の年賀メールを送受信する人が多い昨今にしては、意外な結果でした。中には「赤ちゃんが生まれ、メールから年賀状に切り替えた」というママの声も聞かれました。

次に多いのは、「初詣に行く」(74人)でした。今どきのママたちは、独身時代から初詣はお正月の外せないイベントとなっているようです。「今年は妊娠中で、体を冷やしてはいけなと私だけ初詣に行けなかった。来年こそ赤ちゃんを連れてお参りしたい」「初詣は、毎年欠かさず行っているの、来年も絶対行くつもり！」など、ママたちの意気込みが伝わってきました。

「お正月飾りをする」と答えたのは55人で、「集合住宅なのでドアにリースを飾る」「小さな鏡餅をお供えする」「役所で配布される門松の紙を玄関に貼る」など、手軽にお正月らしさを演出するママがほとんどでしたが、「玄関に注連縄(しめなわ)を飾る」という答えもありました。

「お雑煮を作る」「おせち料理を作る」に関しては、自分で作る人はそれぞれ66人、33人という結果でした。「お雑煮は実家で食べるが自分では作らない」というママは18人、「おせち料理」では23人が「母や祖母に作ってもらう」と答え、「買う」人は5人でした。また、作るといっても、「2、3品簡単なものをだけ」という正直な声も聞かれました。

「親戚などへの挨拶まわり」については、53人が「する」と答え、「毎年伯父の家に集まる」「実家に親戚一同が集まる」など、予想していた以上に親族間のつながりが深い様子が伺えました。東日本大震災後見直されている「絆」を大切に思う気持ちが、お正月の集まりに現れているのかもしれません。

「その他」としては、「かるた、凧揚げ、福笑いをする」(3人)「餅つき」(2人)「初売りに行く」(2人)「年越しそばを食べる」(2人)「御屠蘇(おとそ)で祝う」(1人)「大掃除をする」(1人)「お墓参りをする」(1人)という回答がありました。

子どもが生まれて、お正月の外出に大きな変化

「子どもが生まれて、お正月にすること、過ごし方に変化はありますか？」と質問したところ、「外出や旅行、初詣に関すること」をあげたママが 28 人でした。ついで「年賀状について」が 14 人、「お正月料理について」が 9 人、その他、さまざまな声があがりました。(下記【HOT VOICE】参照) その一方で「わからない」「まだイメージできない」というママも 22 人いました。

【HOT VOICE】

- ・これまで夜中に初詣に行っていましたが、赤ちゃんがいるので昼間に行きます。
(母 28 歳 子 1 歳 6 ヶ月)
- ・初詣、三が日は混んでいるので時期をずらして行きます。 (母 36 歳 子 1 歳 8 ヶ月)
- ・夜のカウントダウンには行けないですね。外出は昼間で夕方には戻るようにします。
(母 32 歳 子 5 ヶ月)
- ・これまで、お正月はスキー場で過ごしていましたが、来年は実家でゆっくりするつもり。
(母 30 歳 子 1 ヶ月)
- ・今まで、友だちはメールで済ませていましたが、今年は赤ちゃんの写真入りの年賀状を出します。
(母 24 歳 子 9 ヶ月)
- ・赤ちゃん中心の写真入りの年賀状を張り切って作りたいと思っています！
(母 32 歳 子 4 ヶ月)
- ・おせち料理は、時間がなく手作りできないので、買ってくるか宅配が多くなりました。
(母 36 歳 子 1 歳 2 ヶ月)
- ・お正月に限らず、晩酌をしなくなりましたね。 (母 37 歳、子 8 ヶ月)
- ・子どものために、おせち料理をしっかり作るようになりました。 (母 38 歳 子 5 歳)
- ・お正月に着せる子どもの服を新調します。きちんとした服装で記念写真を撮るつもりです。
(母 40 歳 子 10 ヶ月)
- ・赤ちゃんがいるお正月は、なんといっても幸せ度が違います！ (母 35 歳 子 1 歳 6 ヶ月)

子どもに伝えたいのはお正月を大切にすること

最後に、お正月行事として、あなたが子どもに伝えていきたいことを尋ねました。「わからない」「思いつかない」と答えたママが 22 人いましたが、78 人からはさまざまな意見がありました。お雑煮やおせち料理を手作りしているママはもとより、作ったことがないママからも、お正月の食文化を子どもの世代にも伝えていきたいという声が 34 人からあがりました。

そして、初詣についても「お参りする心を教えたい」との意見や、「伝統的な日本の遊びである『かるた』『百人一首』『凧揚げ』『こま回し』など教えたい」、「新年の挨拶はきちんとさせたい」「家族や親族が集まることは続けていきたい」「大切なならわしとしていろいろ伝えていきたい」など、日本文化としてお正月を大切に思い、次世代に伝えていきたいというママたちの熱意が感じられました。

【HOT VOICE】

- ・食育の一環として、おせち料理の持つ意味を伝えたいです。ゆくゆくは娘と一緒に作ります。
(母 32 歳 子 7 ヲ月)
- ・おせち料理を家族揃って食べることは大切にしたいと思います。でも私、まだ作ったことはないんですけどね。
(母 25 歳 子 9 ヲ月)
- ・離島（鹿児島県）に住んでいて、この地域ならではの伝統的な料理がたくさんあります。それを子どもに教えるのは私の役目だと思います。
(母 40 歳 子 10 ヲ月)
- ・行事の意味をきちんと説明するのは自信がないけれど、一年の始まりのお正月は、家族が元気で迎えられることが大切と伝えたいです。
(母 39 歳 子 2 歳)
- ・祖母が伝統行事を大切にする人なので、祖母のやり方を娘にも伝えていきたいと思います。
(母 29 歳 子 9 ヲ月)
- ・パパもパパの実家も盆暮れない職業。だからこそ、お正月は特別な日だと教えていきたいんです。
(母 30 歳 子 1 歳)
- ・せっかく日本人として生まれたのだから、参拝の作法、新年の挨拶、礼儀など大切にしていきたいと思います。
(母 30 歳 子 6 ヲ月)
- ・お正月は皆で集まり、昔ながらの家族の絆、つながりを伝えていきたいです。
(母 37 歳 子 11 ヲ月)

まとめ

「来年のお正月の過ごし方」について 8 月末から 10 月初めにかけて、ママたちに聞き取り調査を行いました。まだ先のことで、具体的な回答は難しいのではないかと懸念しましたが、ママたちの多くは生き生きと楽しそうに、お正月について語ってくれました。

昔も今も、一年の始まりのお正月は、特別な日であり、心待ちする楽しい行事であることに変わりはないのでしょう。

アンケートからは、毎日忙しく育児に追われるママたちにとって、「お正月は家族や親族が集まって、家でゆっくりのんびり過ごしたい」という気持ちが現れています。

また、情報化社会の中で育ち、さまざまな文化を生活にも上手に取り入れるママたちですが、日本的な文化への関心も高い様子がわかりました。少しずつ形は変えながらも、食

文化やしきたり、家族のつながりなど、これまで大切にされてきた「お正月のあり方」は、ママから子どもたちへ引き継がれていくことでしょう。

調査の概要

- 対 象 : 「エンゼル 110 番」に電話をいただいた子育て中のママ 100 人
- 調 査 方 法 : 電話による聞き取り調査
- 調 査 期 間 : 平成 24 年 8 月 27 日～10 月 6 日
- 対 象 者 の 属 性 : 「母親の年齢」10 代…1 人、20 代…21 人、30 代…69 人、40 代…8 人
不明…1 人
「子どもの年齢」6 ヶ月未満…33 人、1 歳未満…43 人、
2 歳未満…17 人、2 歳以上…9 人（兄弟あり）
- 居 住 地 域 : 首都圏…56 人、首都圏外…40 人、不明…4 人